

### 健全化判断比率

健全化判断比率とは、財政の状況を表す四つの指標のことをいいます。「早期健全化基準」と「財政再生基準」の基準によって財政の健全性を判断します。

	用語説明	豊山町	(単位：%)	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計などの赤字の比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	町全体の赤字の比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	町全体の借入金返済額の大きさを示す比率	△1.4	25.0	35.0
将来負担比率	将来負担すべき実質的な負債の比率	—	350.0	

※表中の「—」表示は数値がない（赤字がない）ことを表しています。

### 資金不足比率

資金不足比率とは、公営企業の経営状態の悪化の度合いを示します。資金の不足額の事業規模（事業収入）に対する比率で示します。町が独自で運営する公営企業は下水道事業のみです。資金不足は生じておらず、数値化されません。

### 本町の財政は健全

以上のとおり、平成二十八年度決算における本町の算定結果はすべての指標において基準値を大きく下回り、健全な財政状況であることが証明されました。今後においても、限られた財源を最大限活用するために最新の情報を収集しながら各事業の精査を進めていきます。

	会計名	豊山町	(単位：%)
			経営健全化基準
資金不足比率	公共下水道事業特別会計	—	20.0

※表中の「—」表示は数値がない（資金不足が生じていない）ことを表しています。

### 平成28年度 町民1人当たりの負担額および支出額

町税総収入額	40億2,038万円	町民1人当たりの税負担額	25万8,645円
歳出決算総額	61億3,426万円	町民1人当たりの支出額	39万4,638円
基金現在高	12億6,793万円	町民1人当たりの基金積立額	8万1,570円
地方債現在高	17億4,711万円	町民1人当たりの地方債発行残高	11万2,398円
人口 (平成29年3月31日現在)		15,544人	

### ※町民1人当たりの支出額の内訳

区分	1人当り支出額
社会福祉・児童福祉	12万7,791円
学校・生涯学習	4万5,844円
都市基盤の整備	3万9,985円
防災活動	1万8,752円
その他	16万2,266円
合計	39万4,638円

### 平成28年度 都市計画税の使途

事業区分	事業費	都市計画税充当額
公共下水道事業	4億2,782万円	2億3,935万円
合計	4億2,782万円	2億3,935万円

### 平成28年度 歳出決算（性質別）

区分		決算額	構成比
義務経費	人件費	9億5,529万円	15.6%
	扶助費	9億1,846万円	15.0%
	公債費	1億4,556万円	2.4%
投資的経費	単独事業	2億920万円	3.4%
	補助事業	1億8,616万円	3.0%
その他の経費	物件費	14億5,868万円	23.8%
	補助費等	9億4,355万円	15.4%
	繰出金	7億5,026万円	12.2%
	積立金	4億8,178万円	7.8%
	投資及び出資金・貸付金	5,900万円	1.0%
	維持補修費	2,632万円	0.4%
歳出総額		61億3,426万円	100.0%

### 平成28年度 特別会計決算

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	18億2,956万円	17億2,405万円
後期高齢者医療特別会計	1億8,879万円	1億8,235万円
介護保険特別会計	8億4,179万円	8億911万円
介護サービス事業特別会計	469万円	350万円
公共下水道事業特別会計	5億3,138万円	5億2,949万円
合計	33億9,621万円	32億4,850万円